

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	設	津久井やまゆり園
指定管理者	者	社会福祉法人かながわ共同会
指定期間		H17.4.1 ~ H27.3.31
施設所管課		障害サービス課 ()

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

地域との関わりを重視し、地域福祉の推進に努め、県の求める拠点施設としての機能を維持向上している。
 収支状況については、制度改正や効率的な運営により、上半期を通じて黒字であり、良好と言える。
 利用者数については、目標利用者数には満たないものの、前年比では増加していることから、全体的に良好な管理運営に努めている。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月10日	○	×	×	無	
5月	6月8日	6月8日	○	×	×	無	
6月	7月9日	7月9日	○	×	×	無	
7月	8月9日	8月9日	○	×	×	無	
8月	9月7日	9月7日	○	×	×	無	
9月	10月9日	10月9日	○	×	×	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	強度行動障害対策生活支援事業の実施 施設入所機能を生かして、在宅や民間の事業所で支援困難ケースを積極的に受け入れ、指定管理者の役割を果たしていく。	本事業を実施している県立施設との定例の会議に出席し、対象利用者の支援についての情報交換等を行う。また、園内にもフィードバックしている。ケースワーカーと事業担当職員が津久井養護学校や近隣の特別支援級を訪問し、上半期に6名の新規入所者のうち、1名を本事業の対象者として取り組んだ。下半期にもさらに1名を受け入れる予定である。利用者の安全確保における行動制限（身体拘束）についてのガイドラインを事業担当職員を中心に作成した。

	提案内容	実施状況
2	<p>人権擁護の理解促進を図るため職員としての資質の向上 障害者の人権擁護を基本的な理念として質の高い職員集団を目指し、研修体制の強化充実を図る。</p>	<p>法人の階層別研修のテーマを「虐待防止法施行に向けた取り組み」とし、各階層で、半日を外部講師等による虐待防止法についての講義を受け、半日はグループワークの中で、日頃の支援についての振り返りを行った。 当園においては、セラピューティックホールド研修を開催し、利用者のパニック時に職員が安全に介入する技術を学んだ。また、非常勤職員を対象とした人権研修を開催し、当園で作成した支援指針パンフレットを用いて、人権についての理解を深めた。</p>
3	<p>グループホーム等地域生活移行推進事業 ケアホーム入居予定者に対して、ケアホームを利用した生活体験を行う。</p> <p>放課後等デイサービス事業 在宅障害児者支援のために新規に事業を開始する。</p>	<p>7名（実数）に対して、延べ18日間実施。平成24年10月に開設したケアホームの入居に向けて利用した方もいる。上半期に体験利用した方のうち3名が入居した。</p> <p>平成24年4月1日に根小屋地区日中活動支援センター（生活介護事業所＋放課後等デイサービス事業の多機能型事業所）「そよかぜ」を開所。児童・生徒の受け入れを開始した。</p>
4	<p>すこやかサービス事業 福祉関係職員・地域住民・家族等を対象に、一次救急救命処置研修を実施する。</p>	<p>11回実施して、延べ34名の講師を派遣し、延べ166名の参加があった。実践的な内容であり、参加者からの質問も多く、熱心に参加していただいている。下半期も継続実施し、年間20回実施予定。</p>
5	<p>障害者地域余暇活動支援事業 在宅障害者への余暇活動（ワクワクサークル） 近隣作業所・学校との創作活動（わいわい創作活動）を実施する。</p>	<p>（ワクワクサークル） 5回実施し、延べ66名の利用者及び19名のご家族が参加。イチゴ狩り、ポーリング、バーベキュー、ぶどう狩り、動物園へ行く。 年間9回実施予定。</p> <p>（わいわい創作活動） 1回実施し、外来者70名、園利用者62名、講師3名、ボランティア9名が参加していただく。陶芸、ステンシル、リースのうちからひとつを選んで取り組んでいただく。体育館ステージ横の放送室を利用して利用者が歌った歌を録音してCD-Rに焼き、参加した利用者にプレゼントした。</p>

	提案内容	実施状況
6	<p>地域交流等支援事業 地域住民、福祉職員等に障害者への理解が深まるような交流会（地域コンサート・ファンファンワークショップ）を実施する。 地元小学校との合同地域清掃活動 施設等を会場とした親と子・職員による参加型のワークキャンプを実施する</p>	<p>（地域コンサート） 2回実施し、外部の方が延べ86名、当園利用者が延べ167名が鑑賞することができ、童謡やリズムカルな音楽を楽しんだ。年間4回実施予定。</p> <p>（ファンファンワークショップ） 1回実施。一般25名、利用者4名が参加し、草木染のTシャツづくりを行う。年間3回実施予定。</p> <p>（そよかぜワークキャンプ） 1回実施。利用者9名家族3名参加し、竹筒炊飯でカレーを作り、すいか割りも行った。年間3回実施予定。</p>
7	<p>地域生活支援関係者研修事業 地域生活支援にかかわる人材育成及び福祉関係職員のスキルアップを目的とした研修会を実施する。 （寺子屋シリーズ、オープンセミナー、津久井フォーラム）</p>	<p>（寺子屋シリーズ） 3回実施。外部の方が延べ75名。当園職員が延べ86名参加。虐待防止法、高次脳機能障害、与薬の基本について学ぶ。年間4回実施予定。</p> <p>オープンセミナー、津久井フォーラムは年間1回実施予定。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		—	—	—	—	—	—
予算額	前年度	602,867	707,233	44,416	1,354,516	1,354,516	0
	上半期	298,843	342,433	14,816	656,092	656,092	0
	下半期	304,024	364,800	29,600	698,424	698,424	0
	今年度	602,191	710,303	28,700	1,341,194	1,341,194	0
	上半期	298,501	351,500	14,350	664,351	664,351	0
	下半期	303,690	358,803	14,350	676,843	676,843	0
上半期実績額	4月	40,552	60,220	1,653	102,425	70,625	31,800
	5月	40,552	64,479	5,494	110,525	83,719	26,806
	6月	95,741	65,030	756	161,527	155,203	6,324
	7月	40,552	65,177	866	106,595	73,143	33,452
	8月	40,552	64,139	708	105,399	80,033	25,366
	9月	40,552	61,008	1,400	102,960	76,193	26,767
	今年度 上半期合計	298,501	380,053	10,877	689,431	538,916	150,515
	前年度 上半期合計	298,843	364,693	13,756	677,292	585,758	91,534
	対前年度上半期比				1.8%	▲ 8.0%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	①上半期の予算執行にあたって、歳入については、自立支援費の地域区分の見直しにより収入の増となった。歳出については、計画的かつ効果的な執行を考えながら不要な支出を抑え、経費節減に努めた。 ②収支差額については、自立支援費収入が2ヶ月遅れで入金されることから、次年度当初の運転資金として活用する。
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：一円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	260	居住棟2階居室708号室床改修工事
	554	居住棟1階居室112号室改修工事
	0	
	0	
積立等	84,100（期首）	生活介護会計80,100千円、診療所会計4,000千円
	84,100（期末）	平成24年度上半期で積立金等の変動なし

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	141 人	141 人	0.0 %
5月	144 人	142 人	1.4 %
6月	144 人	143 人	0.7 %
7月	145 人	142 人	2.1 %
8月	148 人	142 人	4.2 %
9月	148 人	143 人	3.5 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	900 人	870 人	853 人	▲ 3.4 %	2.0 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	神奈川県障害福祉計画に「福祉施設の入所者の地域生活への移行」が数値目標として定められていることから、当園においても、自立生活可能な障害者が在宅やグループホーム、ケアホームといった地域生活移行に向けた取組を進めた結果、目標利用者数（定員150人）を割っている状況にある。定員割れについては、短期入所の受入枠を広げ、在宅支援に努めた。
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	12 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応	通所利用者の利用日の確認ミスから送迎が大幅に遅れる。稼働日の連絡の行き違いから休業日に来所されてしまう。ご家族との連絡についての苦情が複数あり。	個別の連絡ノートを活用し、臨時の変更についても口頭だけでなく書面も併用していくことの確認を徹底した。
	利用者の服装について、丈が短く背中が見えてしまうので大きめのシャツを着用させてほしい等、服装や整容についての要望が複数あり。	衣類購入等を進め服装や整容について改善を図っているが、利用者自身が今までの衣類を選んだり、職員間の周知が徹底されずに、再度ご家族から要望を受けたりするケースもあった。
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

今期は、入所利用者が増加し入所定数に近づいた反面、短期利用の枠は減ってしまうことになった。在宅障害者のニーズに答えるためにも短期利用の枠を有効利用できるようにきめ細かな調整をおこなっている。骨折等の怪我、事故を防止するため、ヒヤリハット活動や支援方法についての研修を実施する等リスクマネジメント活動に取り組んでいる。特に、新規事業所（日中活動支援センター）を立ち上げたり、職員自らが指導者の資格を取得して、福祉関係職員・地域住民・家族等を対象に、一次救急救命処置研修である「すこやかサービス」も継続するなど、地域の福祉向上に積極的に取り組んできた。引き続き地域サービス事業の各事業を積極的に取り組みながら、地域の社会資源として地域福祉に貢献していく。